

令和3年5月28日

## 実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 岡山県真庭市久世 2927 番地 2  
管理機関（代表の機関）名 真庭市  
代表者名 太田 昇

### 1 管理機関

#### ①管理機関（市区町村・都道府県）

|       |      |
|-------|------|
| ふりがな  | まにわし |
| 管理機関名 | 真庭市  |
| 代表者職名 | 市長   |
| 代表者氏名 | 太田 昇 |

#### ②管理機関（産業界）※2団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| ふりがな  | めいけんこうぎょうかぶしきがいしゃ |
| 管理機関名 | 銘建工業株式会社          |
| 代表者職名 | 代表取締役社長           |
| 代表者氏名 | 中島 浩一郎            |

#### ③管理機関（学校設置者）

|       |                  |
|-------|------------------|
| ふりがな  | おかやまけんきょういくいいんかい |
| 管理機関名 | 岡山県教育委員会         |
| 代表者職名 | 教育長              |
| 代表者氏名 | 鍵本 芳明            |

### 2 指定校名

学校名 岡山県立真庭高等学校

学校長名 豊田 涼

### 3 事業名

自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想

－「環境（SDGs）」×「アグリビジネス」⇒豊かな生き方・働き方－

### 4 事業概要

- ・中山間地域において自然と共生しながら持続可能な地域産業と地域を担う人を育むため、産業と教育に知見を有する真庭市職員をマイスター・ハイスクール CEO、銘建工業社員を産業実務家教員として真庭高校に配置するとともに、小中連携等に取り組む郷育魅力化コーディネーターの配置やコンソーシアムの構築により地域で

高校教育を共創する。

- ・真庭高校において、真庭市の農産物を生産・加工・販売する6次産業化への学習を農商連携により展開するとともに、地域の農林業資源を活用した農業体験や観光プランの提案等を行うアグリビジネスプランの作成に取り組む。地元関連企業と連携し、新商品の開発・提案を行うとともに、模擬会社スタイルの学習展開の中で起業家教育を推進する。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- ア 学校設定教科・科目を開設している（検討中）  
 イ 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～令和4年3月31日

7 令和3年度の実施計画

- ①マイスター・ハイスクールビジョン【マイスター・ハイスクール運営委員会】
  - ・マイスター・ハイスクールビジョンの構想と実現に向けた方向性について深く検討し、策定する。
- ②地域を担う人材育成カリキュラム【マイスター・ハイスクール事業推進委員会】
  - ・マイスター・ハイスクールビジョンに基づき、自らの生き方と持続可能な地域産業を重ねて考え、地域の担い手を育成するために必要な教育課程を検討する。
  - ・真庭高校での学びを小中学生に伝える交流学习の在り方を研究する。
- ③地域産業学習カリキュラム【CEO・産業実務家教員・新学科検討委員会・進路指導課】
  - ・令和3年度における久世校地（農業科）での、環境と産業についての学びと地域産業及び地域での実習の場を、マイスター・ハイスクールCEOを中心に検討し、産業実務家教員が課題研究等で真庭市の産業等を指導するとともに、実習先で体験的に指導する。また、地域産業学習を進路指導に結びつけ、地域の担い手を育成するシステムの検討を行う。
- ④地域資源を活用した学習カリキュラム【CEO・真庭高校】
  - ・令和4年度に農業科及び商業科の全部又は一部の生徒に対して実施する、地域企業等と連携した取組内容を検討し、連携先を開拓する。また、全学科で行う総合的な探究の時間における、地域を知る取組内容についてプログラム開発を行う。
- ⑤学校設定教科・科目の研究【マイスター・ハイスクール事業推進委員会】
  - ・令和5年度に、農業科及び商業科の生徒に対して開設予定の学校設定教科・科目について、学科横断型学校設定科目の内容を検討し、連携先を開拓する。
- ⑥郷育魅力化コーディネーターとの連携活動【CEO・郷育魅力化コーディネーター・久世校地農業2科】
  - ・郷育魅力化コーディネーター・久世校地農業2科による小中学校との連携活動の実施。
  - ・郷育魅力化コーディネーターを中心として、教科・科目や総合的な探究の時間において、聞き書きの手法を取り入れた活動を実施する。
- ⑦活動を支援する体制の構築【管理機関】
  - ・本事業に参画する個人・団体を広げ、コンソーシアムを構築する。

<添付資料>

- ・令和3年度教育課程表

## 8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

| 氏名     | 所属・職             |
|--------|------------------|
| 豊田 涼   | 岡山県立真庭高等学校・校長    |
| 中島 浩一郎 | 銘建工業株式会社・代表取締役社長 |
| 太田 昇   | 真庭市・市長           |
| 鍵本 芳明  | 岡山県教育委員会・教育長     |
|        | 真庭商工会            |
|        | 晴れの国岡山農協・真庭統括本部  |
|        | NPO 法人共存の森ネットワーク |

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

| 氏名     | 所属・職                                       |
|--------|--|
| (再検討中) | 真庭市・参事（マイスター・ハイスクール CEO）※審査時の所見を踏まえ、改めて検討中 |
| 豊田 涼   | 岡山県立真庭高等学校・校長                              |
|        | 銘建工業株式会社                                   |
|        | 岡山県商工会青年部連合会                               |
|        | NPO 法人                                     |
| 牧 邦憲   | 真庭市・産業政策課長                                 |
| 赤田 憲昭  | 真庭市教育委員会・教育次長                              |
| 室 貴由輝  | 岡山県教育庁・高校教育課高校魅力化推進室長                      |
| 杉山 俊幸  | 岡山県立真庭高等学校久世校地・副校長                         |
| 武村 克彦  | 岡山県立真庭高等学校落合校地・副校長                         |
|        | 銘建工業株式会社（産業実務家教員）                          |
|        | NPO 法人共存の森ネットワーク（真庭市郷育魅力化コーディネーター）         |
|        | 一般社団法人はにわの森（真庭市郷育魅力化コーディネーター）              |
| 三村 公一  | 真庭支部中学校長会・会長                               |

## 9 課題項目別実施期間

| 業務項目                         | 実施期間（契約日 ～ 令和4年3月31日） |    |       |                         |              |    |     |          |                  |    |       |       |  |
|------------------------------|-----------------------|----|-------|-------------------------|--------------|----|-----|----------|------------------|----|-------|-------|--|
|                              | 4月                    | 5月 | 6月    | 7月                      | 8月           | 9月 | 10月 | 11月      | 12月              | 1月 | 2月    | 3月    |  |
| ①マイスター・ハイ<br>スクールビジョン        |                       |    | ←     | ○                       |              | ○  |     | ○        |                  |    | ○     |       |  |
|                              |                       |    |       | 検討・策定                   |              |    |     | ○印 運営委員会 |                  |    |       |       |  |
| ②地域を担う人<br>材育成カリキュ<br>ラム     |                       |    |       |                         |              |    |     |          |                  |    |       |       |  |
|                              |                       |    |       |                         | 隔月程度で事業推進委員会 |    |     |          |                  |    |       |       |  |
| ③地域産業学習<br>カリキュラム            |                       |    | ←     |                         |              | ←  |     |          |                  |    | ←     |       |  |
|                              |                       |    | 計画・調整 |                         |              |    |     | 実践       |                  |    | 次年度計画 |       |  |
| ④地域資源を活<br>用した学習カリ<br>キュラム   |                       |    | ←     |                         |              |    |     |          |                  |    | ←     |       |  |
|                              |                       |    |       | 連携先開拓・取組内容の検討（毎月1回程度会議） |              |    |     |          |                  |    |       |       |  |
|                              |                       |    |       |                         |              |    |     |          |                  |    |       | 具体の提示 |  |
| ⑤学校設定教科<br>・科目の研究            |                       |    |       |                         |              |    |     |          |                  |    |       |       |  |
|                              |                       |    |       |                         |              |    |     |          | ④を受け、R5に向けた内容の検討 |    |       |       |  |
| ⑥郷育魅力化コ<br>ーディネーター<br>との連携活動 |                       |    |       | ←                       |              |    |     |          |                  |    | ←     |       |  |
|                              |                       |    |       |                         | 実践           |    |     |          |                  |    | 次年度計画 |       |  |
| ⑦活動を支援す<br>る体制の構築            |                       |    | ←     |                         |              |    |     |          |                  |    |       |       |  |
|                              |                       |    |       | コンソーシアムの構築（①運営委員会等で協議）  |              |    |     |          |                  |    |       |       |  |

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

- ( ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。  
 (○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無  有 ・ 無

※有の場合、別紙様式 5-2, 5-3 に詳細を記載すること。

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者・ 免税事業者 (□で囲むこと)